平成２３年度　業　務　棚　卸　表

政策推進部　東京事務所　所長　新谷裕俊	
作成日	平成23年7月29日

総合計画での位置付け	
基本目標または5つの視点	基本目標　②　いきいきと働ける集いと交流のまち
基本的政策または上位目的	基本的政策　2：　四日市の魅力の再発見と滞在･体験型観光

		成果･活動指標	実績（平成21年度）	目標（平成22年度）	実績（平成22年度）	目標（平成23年度）	達成度
任務目的	東京での立地条件を活かしたシティセールスを行うとともに、本庁業務の高度化、効率化のための支援を行う。	首都圏での四日市市の魅力発信回数	５件 四日市ゆかりの人への情報発信　２回 イベントによる魅力発信　３回	１０件	１２件	１２件	

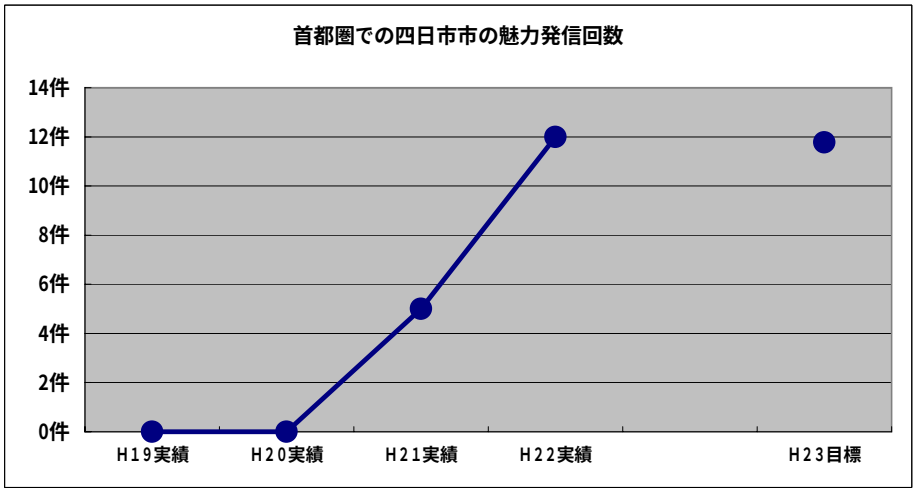
21年度の実績と22年度の実績を受けた取り組みの評価

･21年度に四日市出身者による座談会を開催。そこで発掘した四日市の魅力のひとつ「コンビナート夜景」を題材に、22年度はシティセールスポスター、クリアファイルを制作し、市のイメージアップ、観光PRを行った。この取り組みが夜景クルーズや全国工場夜景サミットへの参画など産業観光の振興につながった。
･津市と合同の物産観光PRイベントを21年度は上野恩賜公園で、22年度は代々木公園で開催。首都圏における四日市の物産観光のPRと魅力の発信に取り組んだ。
なお、22年度はスマートフォンによる同イベント情報の発信や誘客の実験を行い、このニュースが20を越えるIT系のサイト、広報専門誌で自治体の先進的事例として取り上げられた。
･地域活性化アドバイザー（産業分野1名、文化分野1名）からは、中小企業支援や企業誘致、またスマートフォンを活用した情報発信や集客等に関するアドバイスを受けた。特にITを使った新たな取り組みは、上記の物産観光イベントでの集客実験につながった。
･東京事務所を、21年度には気軽に訪れ集まることのできる場とし、各種の座談会等を開催。22年度には、四日市出身大学生の座談会等を行い、若年層も含めた首都圏での人的ネットワークの拡大を図った。

23年度の取り組み方針

都市と農村の交流などで全国から注目される首都圏の商店街等において、継続的なPRの機会を持つなどして、地元産品の販路開拓及び本市の魅力を紹介していく。また、本市の地域活性化及び都市イメージ向上に資するよう、首都圏において産業、文化など各分野で活躍されている本市ゆかりの方を、各種情報収集や発信などを行うアドバイザーとして委嘱するとともに、本市出身者や本市に関係の深い方々などと共に首都圏発の四日市の魅力発信にも努める。

首都圏での四日市市の魅力発信回数	
Ｈ１９実績	―
Ｈ２０実績	―
Ｈ２１実績	5件
Ｈ２２実績	12件
Ｈ２３目標	12件



優先順位	目的達成に必要な基本的な手段	指標	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度目標	―	達成度
	具体的な事業の取り組み内容（項目）	事業名	平成21年度決算額	平成22年度決算額	平成23年度予算額	平成22年度決算額との比較	-
01	シティセールスを推進する	首都圏での四日市市の魅力発信回数	5件	12件	12件	―	
	地域活性化アドバイザー設置 四日市のセールスポイント発掘 地元産品の首都圏販路開拓等 四日市ゆかりの人とのネットワークをつくる	(推) シティセールス推進事業費	1,720	4,570	3,350	-1,220 0 0 0	
		小計	1,720	4,570	3,350	(1,220)	
02	首都圏で情報提供、情報収集を行う	情報提供、情報収集回数	650	471	450	―	
	首都圏での本庁への情報提供 首都圏での各種研修会参加		0	0	0	0 0 0 0	
		小計	0	0	0	0	
合計			1,720	4,570	3,350	-1,220	